琉球大学学術リポジトリ

地域教材「琉球切手」の授業

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学大学院教育学研究科 公開日: 2018-06-28 キーワード (Ja): 地域教材, 琉球切手, 沖縄, 日本復帰 キーワード (En): 作成者: 藏満, 逸司, Kuramitsu, Itsushi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41567

【実践報告】

地域教材「琉球切手」の授業

藏滿逸司

Class of the Local Teaching Materials "Ryukyu Stamps"

Itsushi　KURAMITSU

要　約

第二次世界大戦敗戦から沖縄の日本復帰までの間に、現在の沖縄県を中心に使用された琉球切手は、沖縄県の戦後史を学ぶ教材として有効であるという考えから教材化に取り組んだ。本論では、琉球大学付属中学校三年生に対する授業の記録と感想文を分析し、今後の取り組みの方向性を模索した。

キーワード：地域教材　琉球切手　沖縄　日本復帰

1．はじめに

⑴　琉球切手の地域教材としての価値について

地域教材開発は社会科や総合的な学習を中心に多様な教科で活発に行われている。沖縄県においても、方言、音楽、舞踊、自然、歴史など多様な分野で多くの地域教材が開発され授業が行われている。今回教材として取り上げる琉球切手は、現在の沖縄県を中心とした地域で限定的に使われていたことから、地域教材の一つと考えられる。使用された範囲が沖縄県を中心とした地域であることから、切手の図柄に地域性が認められるものが多い。歴史的経緯や図柄にまつわるエピソードは社会科を中心に様々な教科で教材として使うことが可能である。形状が小さいことから携帯が容易である。デザインが美しく児童生徒の興味関心を引きやすい。入手が比較的容易である。当時を知る人が身近にいることが想定される。以上のことから地域教材として取り上げる教育的価値が高いと考えられる。

⑵　琉球切手関連年表

1945年６月23日	沖縄戦の組織的戦闘が終結（沖縄慰霊の日）
1945年９月７日	沖縄戦の降伏調印式
1945年10月１日	久米島でタイプ謄写印刷の７銭切手（通称　久米島切手）発行
1948年７月１日	初の琉球切手「第１次普通切手」がＢ円切手として発行
1951年２月12日	琉球大学開校記念切手発行
1952年２月10日	トカラ列島本土復帰。
1952年４月１日	琉球政府創立
1953年12月25日	奄美群島本土復帰。
1958年７月１日	Ｂ円表記による最後の琉球切手「郵便切手発行10年記念」発行
1958年９月16日	Ｂ円が廃止されドルが通貨単位となる。

琉球大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻

1958年９月16日　ドル表記による最初の琉球切手発行「ドル表示数字切手」発行
1958年10月15日　守礼門復元記念切手発行
1960年５月22日　琉球大学開学10周年記念切手発行
1966年７月１日　琉球大学政府移管記念切手発行
1972年４月20日　最後の琉球切手「切手趣味週間　ゆしびん」発行
1972年５月15日　沖縄県日本復帰。
1972年６月３日　琉球切手使用可能最終日

２．授業記録

⑴　授業実施までの経緯

本実践は、平成28年度琉球大学附属中学校「第７回体験！琉球大学－大学の先生方による講義を受けてみよう－」の企画の一つとして、11月25日木曜日に琉球大学教育学部の教室で行った。設定教科としては、社会と美術である。対象は中学三年生で、50分×２の時間で行った。この企画のねらいは、「専門的な知識・科学に関する特設授業を聴講することで、生徒の学ぶ意欲や探求心を高める。」とされている。私の研究分野である教材開発の成果を授業の形で中学生に伝えたいと考えた。

⑵　授業のねらい

1945年のアメリカ軍による沖縄占領後の1948年から1972年５月14日の日本復帰までの間に沖縄県を中心とする地域で使用された切手が琉球切手である。琉球切手は、沖縄の歴史・自然・文化と深い関わりがある。いつ使われていたのか，どこで使われていたのか、図柄は何かなどをエピソードの形で生徒に提示し、沖縄の歴史・自然・文化への知識を高めるとともに興味関心を持たせたい。

⑶　授業記録　第１時　～琉球切手との出会い～

〔準備した物　琉球切手、琉球葉書、琉球切手の初日カバー、琉球切手が発行された当時の結核予防シール、在日米軍軍票Ｂ円券〕

琉球切手にはさまざまなエピソードがあります。日本の中で地域を限定して使われた琉球切手にまつわるエピソードにふれることは、みなさんのこれからにプラスになるはずです。短い時間ですが、琉球切手をたっぷり楽しみながらエピソードを通して沖縄を学びましょう。

今日の学習に関係のあるクイズを出します。声に出さずに考えてください。第一問です。琉球大学の生協前にあるポストから通常郵便で定型の葉書を出します。速達ではありません。ずっと遠くの北海道にある礼文島の中学校に送りたいと思います。（地図を示す）何円分の切手を貼るといいでしょうか。今日、那覇空港から北海道の千歳空港まで直行便のチケットを購入すると片道39,430円です。新幹線で鹿児島から函館まで行くと片道46,670円です。

生徒の書いた価格を読み上げた。500円、50円、52円、80円、180円、300円、100円、90円、50円、60円、100円、80円、50円、1,000円、50円、1,000円、80円、82円、1,000円、150円、50円、50円。

正解を郵便局のホームページで確かめてみましょう。（webサイトで葉書の料金が示されているページを示す）ご覧の通り、通常葉書は全国一律で52円。1,000円と書いた人がいましたが、郵便局の人が喜ぶと思いますよ。

52円と正解を書いていた生徒は一人だった。

第二問です。琉球切手が使われていたのはいつでしょうか。次の三択から選びましょう。
　A　琉球王朝が成立してから日本復帰まで　・・・・1429年から1972年
　B　琉球王朝が成立してから敗戦まで・・・・・・・1429年から1945年
　C　第二次世界大戦敗戦から日本復帰まで・・・・・1945年から1972年

しばらく考えさせた後で、選択した答えに挙手させた。

正解はＣで六割が正解。正確には最初の切手が発行された1948年から1972年である。

最後のクイズです。琉球切手はこれまでに何枚発行されているでしょうか。

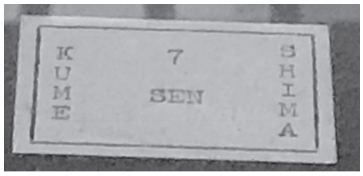
いろいろな枚数を生徒は書いて発表した。正解の248枚より少ない生徒が多かった。248枚の内訳は、普通切手94枚、記念切手90枚、年賀切手16枚、シリーズ切手48枚。248枚が正解なので、230－270の範囲内の数字を書いていた生徒を正解にした。

それぞれのクイズの正解者には、琉球切手や琉球切手の初日カバーをプレゼントした。

今日の学習の流れです。
13：55 ～ 14：00　講師紹介（担当教諭で進行）
14：00 ～ 15：30　授業　琉球切手６のエピソード
15：30 ～ 15：40　感想用紙記入
15：40 ～ 15：45　お礼の言葉・感想発表（生徒）

○エピソード１

これは何だと思いますか？



印刷されている文字を生徒は声に出して読んだ。
「くめしま。」「７せん。」「おかね。」「切手かも。」

今、読んでくれた通り、「くめしま」と「７せん」の文字が読めますね。これは、日本が戦争に負けてアメリカに占領された後、沖縄で初めて発行された切手です。通称で久米島切手と呼ばれています。指揮官のウィルソン少佐が指示し、クラッチフィールド海軍二等兵曹がタイプライターで打ち、喜久里郵便局長が局長印を押して切手として使ったものです。とても数が少なく、オークションでは30万円ぐらいの値段で取引されています。これは琉球切手が発行される前の特別な切手です。

沖縄県の白地図を配ります。久米島に印をつけましょう。

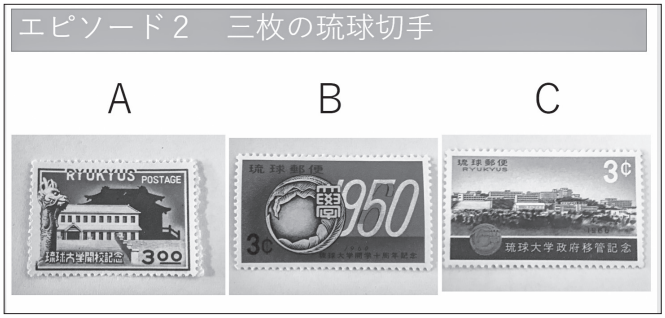
久米島の位置を正確に知っていたのは数人。実際に行ったことがある生徒は一人。久米島のほたるや紬を紹介した。

○エピソード２

エピソード２です。三枚の琉球切手を見て、何か気がつきますか。

・琉球大学の切手だと思いす。

そうなんです。これは三枚とも琉球大学の記念切手です。三枚も切手が発行されている大学は日本では琉球大学だけです。どうして、三枚も発行されているのでしょうか。



（左から1951年発行、1960年発行、1966年発行）

「沖縄の切手だから。」

「琉球切手だから琉球大学の切手が三枚発行されたと思います。」

その通りです。琉球切手は第二次世界大戦に敗れてから、沖縄が日本に復帰するまでの間に、今の沖縄県を中心にした一部の地域で使われた切手なので、琉球大学の切手が三枚も発行されたのです。三枚の切手のなかから一枚もらえるとしたらどれを選びますか。

いろいろな理由をあげたが、多かったのは、次の二つの理由だった。

「Ａを選びました。理由は一番古そうだから。」「Ｂのデザインがきれいです。」

Ｃを選ぶ生徒はいなかった。

Ａは琉球切手の中で一番古い記念切手です。琉球大学が創立したことを記念して発行されました。原案をデザインしたのは琉球大学の学生だった安次富長昭さんで、補作し完成したのは琉球大学応用芸術学科助教授大城皓也さんです。安次富長昭さんは、後に琉球大学教授となり現在は名誉教授です。琉球大学の学章もデザインされています。Ｂは開校十周年を記念して作成された切手で、Ｃは琉球大学が民間の資金で作られた大学から琉球政府が直接経営する大学になったことを記念して作成された切手です。

創立記念切手に描かれている建物の写真を見せたり、当時の大学のことをご存じの杉尾幸司教授に当時のことを話していただいた。次に、切手に描かれたデザインが当時のことを思い出させてくれることがあるという話をした。那覇郵便局の二階にある郵便記念室のことも紹介した。

三枚の琉球大学の切手を見て、気がついたことを黒板に書いてみましょう。

・ＡとＣには学校の建物が書かれているけど、Ｂには、学校の建物が書かれてない。・Ｂには数字が重ねて書いてある。・Ｂは十周年だからできた年と10年後が西暦で重ねて書いてある。・Ａは色がチョコレートぽっい。・時代が進むにつれて色が増えている。・ＡＢは絵、Ｃも写真に見える。(実際はＣも絵であることを確認した)・単位が違う。・単位が円ではない。・ＡからＣにかけて値段が変わっている。・Ｃは３セントなので戦争の後に作られた。・Ａはシンプル。・Ｂには校章が入っている。・ＲＹＵＫＹＵではなく、ＲＹＵＫＹＵＳと書いてある。・Ｂは数字が重ねてある。・Ａからは場所もわかる。・紋章が小学校の物と似ているが中学校とは似ていない。・校章が入っている。・校章ができた年なのでは。(校章ができた後の切手なんだよ。よく気がついたね。)・Ｃは旧漢字ではない。・Ｃだけ写真が使われている。・Ａの切手はＢＣと比べると横の長さが違う。

〇エピソード３

みんないろいろなことに気がついたね。価格の単位のことを書いている人が何人もいましたね。次は価格の単位についてのエピソードです。見てもらいたいものがあるので回覧します。よく見てください。これは何でしょうか。

「お金みたい。」「Ｂと書いてある。」「小さいお札。」

これは、1946年４月15日から沖縄などで公式通貨として使われたＢ円というお札です。1958（昭和33）年９月16日、米国統治下の沖縄でB円からドルへの通貨交換が実施されるまで13年近く使われたお金になります。Ｂ円があるということは何か思いついた人はいませんか。

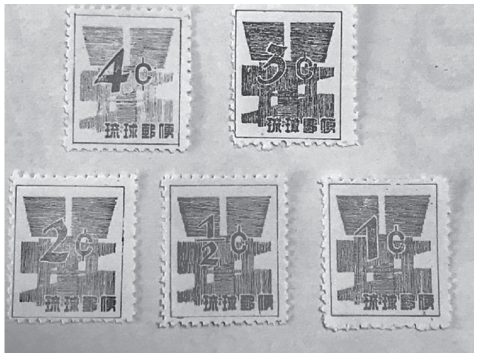
「Ａ円もあった。」「Ａ円は離島で使われた。」

「Ｃ円もあった。」

Ｂ円は沖縄県内で生活の場で使われたお札です。Ａ円は基地で使われていたお金です。現在はＡ円は数が少なく１万円以上することもありますが、Ｂ円は300円ぐらいから買うことができます。Ｂ円は大量に使われていましたが、ドルが使われるようになったときに、みんなドルに両替をしました。沖縄の通貨がＢ円からドルに変わったのが1958年なので、切手も急にドルの単位に変わることになりました。琉球大学の切手をもう一度見てみましょう。Ａは３円でＢとＣは３セントです。さて、その時に作られた切手の実物を見てください。何か気がつくことはないでしょうか。。

「さっき見た琉球切手と比べると紙が薄っぺらい感じがします。」「デザインが簡単です。」「軽い感じがします。」「五枚ともデザインは同じです。」

そうなんです。1958年８月23日に、９月16日にＢ円をドルに切り替えると発表されました。この切手は、突然通過がドルになったということで、急いで印刷をした切手なんです。それで簡単な印刷になったのです。



休憩

休憩時間には、前に置いてある琉球切手を見に来る生徒が何人もいた。「きれい」といいながら、動物や組踊などの民族芸能の切手を見ていた。初めて見る生徒が大半だった。

２時限目

〇エピソード４

次のエピソードです。この切手に描かれている物は何でしょうか。そう守礼門です。守礼門が復元された記念に発行された切手です。このシートを手に入れようとすると、今いくらぐらいすると思いますか。予想して書いてみましょう。

いろいろな価格を生徒が書いたのを確認してから、当時シートで5,000円していたことを資料で示す。「守礼門の切手は急に値上がりしている。」生徒はグラフからこの切手の価格が急騰していることを読み取った。

守礼門の切手は、確かに急に値上がりしています。どうしてこんなに値上がりしたのでしょうか。

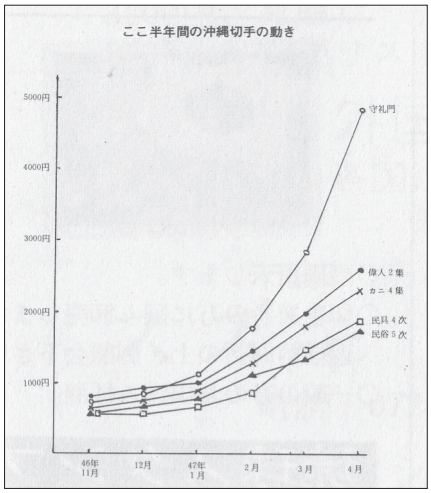
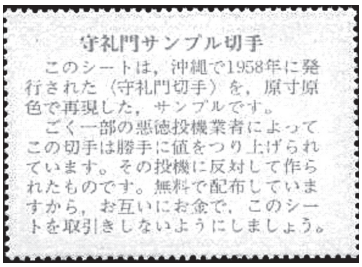


図１　「ここ半年間の沖縄切手の動き」
（改訂版：1972標準切手カタログ エルム社）

「きれいだから。」「数が少ないから」

この切手が急激に値上がりしたのは沖縄の日本復帰が近づいてきたころでした。このころ、琉球切手を買っておくと、後で値上がりしてもうけられるという話が日本中に広まっていました。それで、たくさんの人が琉球切手を買うようになりました。そして琉球切手の値段も一気に上がっていったのです。

こうしたブームをよくないと考えて、守礼門の切手そっくりなシートを作り、裏側に警告を印刷して配布する人たちもいました。切手投機反対同盟が同じデザインの切手の裏にメッセージを印刷したものを配布しました。（実物を見せる）


守礼門サンプル切手
このシートは，沖縄で1958年に発行された〈守礼門切手〉を，原寸原色で再現した，サンプルです。
ごく一部の悪徳投機業者によってこの切手は勝手に値をつり上げられています。その投機に反対して作られたものです。無料で配布していますから，お互いにお金で，このシートを取引きしないようにしましょう。

エピソード５

次のエピソードです。この切手は特別な切手となりました。中学三年生のみなさんなら、読めるのではないでしょうか。英文を読んでください。

「ファイナルと書いてあります。」「最後の切手という意味だと思います。」「1972年は復帰の年す。」

その通りです。図柄はゆしびんです。５セントの琉球切手になります。今読んでくれたとおり、右上にはfinal　Issueと書いてあります。最後に発行された琉球切手ということです。発行前日の午後十時には行列ができ真夜中には千人が並んだそうです。しかし、琉球切手ブームは翌年には終わりました。「ふっとんだ沖縄切手!!　始まった業者のたたき売り　守礼門ついに200円に」と題された文章があります。少し読むので聞いてください。

こうした琉球切手ブームはなぜ起きたのでしょうか。

「沖縄に日本が復帰したら、琉球切手は発行されなくなるから。」「琉球切手は珍しいから。」

確かに琉球切手はみなさんがつぶやいたように美しいですね。そして、日本に復帰したらもう発行されないことがわかっていました。日本の切手を集めている人たちが、琉球切手を全部集めないと日本の切手を全部集めたことにならないと、急に集め始めたという話もあります。

エピソード６

次のエピソードです。発行されなかった琉球切手がいろいろあります。（王冠・タマンチャーブイ守礼門　琉球王の紋章である三つ巴の写真を見せて）この三つの図案はマッカーサー総司令部が発行を許可しませんでした。その理由は、〇〇〇〇に反するからです。〇〇〇〇に入る言葉を考えてください。

いくつかの意見が出た中に正解の民主主義があった。「切手図案却下理由」の概略を読んで紹介した。

最後に、琉球切手に関係する実物の資料を四つ紹介した。

琉球切手の初日カバー、沖縄限定の結核予防シール、現在の沖縄県の風景印、日本復帰後から現在までの日本切手の沖縄関係切手である。

結核予防シールは、沖縄で独自に発行されたが、最初に発行されたシールは、沖縄での印刷が間に合わず、アメリカで使われている物をそのまま流用している。

３　生徒23人の感想による教材としての価値の分析

⑴　学習意欲を高める教材であったと多くの生徒が感じていることがわかる感想。

※丸数字は、後記の生徒の感想文番号を示している。

〇琉球切手の美しさがとても伝わってくる授業でした。　①

〇10周年の紋章にインパクトを感じました。　②

〇使われていた期間は短いが、その時代のことや沖縄のことを読み取ることのできる面白いものだと思った。こんな小さい紙から色々なことを学べて楽しかった。　③

〇葉書と琉球切手のプレゼントもとても魅力的で大切にしたいと思った。　④

〇琉球大学の切手があることも初めて知ったし，切手を見て，その時の沖縄のようすなど様々な事が想像できてとても楽しかったです。　⑤

〇実物をたくさん用意してくれたり，自分たちにもさわらせてくれたので，なかなか体験できないことが，今回できた。　⑥

〇デザインがかわいらしいのも良いと思ったけれど，琉球のものが描かれていておもしろいなと思

いました。　⑦

〇私も琉球切手を集めてみたいです。　⑩

〇今は，全国共通の切手を使っていて，琉球切手は戦後から本土復帰までの間しか使われなかったのは，少しもったいないという気もします。デザインとかは，今の切手でも使って欲しいと思いました。　⑪

〇切手とかコレクションには，とても興味があって楽しむことができました。　⑫

〇琉球切手にはたくさん種類があって，とてもきれいでした。沖縄は，アメリカと戦争をしてドルとか使っていて，その影響もあって，琉球切手には英語が書かれていたり，３¢と書かれていたり，何か面白いなあと思いました。　⑬

〇琉球大学の切手というものも，生まれて初めて見て，そんなものがあったのかと驚きもありましたし，この切手１枚１枚にある話の深さにも驚かされました。　⑭

〇切手なんて，ただ地方の絵が描かれているってだけなのかなーって思ってたけど，そうではなくて，当時の時代背景の影響が大きいって事が面白かった。　⑮

〇当時のハガキのデザインは手作り感があって印刷している感じはあまりない。現在はデザインがこっていたり，印刷技術があがっていて凄いと思った。琉球切手は，アメリカに占領されていた時期とか，時代背景がわかって面白いなあと思った。　⑯

〇かわいいデザインのもあって，とても引き込まれました。最後に琉球切手をもらい，とてもいい思い出になりました。楽しかったです。　⑱

〇最初は，切手についての興味はあまりありませんでした。しかし，沖縄の歴史と関連している切手のデザインを見たり，学んだりすることによって，面白いと感じることができました。　⑲

〇切手を見ることで，沖縄，日本の戦後の歴史がわかるというのはとても面白いと思いました。　㉑

〇私が，今日気に入った琉球切手は，1967年のモンガラカワハギ３¢です。切手から時代の流れを感じ取ることができるんだなあと初めて知って驚きました。　㉒

〇切手は小さいですが，切手にかかれている絵や文字が大切なことを知らせていると感じました。　㉓

⑵　もっと調べてみたいと多くの生徒が感じていることがわかる感想。

15人が何らかの形で、今日の学習で抱いた課題を解決したいと書いていた。

〇沖縄だけでなく全国の切手も見てみたくなった。　①

〇このような機会がまたあれば，切手のもう少し深いところを探ったり，細かいところを見てみたいなと思いました。　②

〇沖縄で昔使われていたＢ円や基地で使われていたＡ円についても，もっと調べてみたいと思いました。基地でＡ円が使われていたということは，アメリカでも使われていたのか，それともドルなのかという疑問もわきました。様々な疑問をこれからも持ち続けて，切手についてもっと知りたいと思いました。　⑤

〇新たに琉球切手について自分でも調べてみたいと思った。　⑥

〇このことをもっと調べて，一番お金が高いのを調べてみようと思った。　⑧

〇また家でもいろいろ調べてみたいです。　⑨

〇今日，見せていただいたＢ円は，Ｂ円のなかの１枚なのでしょうか。それとも,，あのＢ円１枚だけが沖縄で使われていたのでしょうか。などの疑問も浮かんできたりと，本当に興味深く聞くことができました。私も琉球切手を集めてみたいです。　⑩

〇お父さんやお母さんにも昔の切手のことなどを聞いて，今日学んだこと以外にもいろいろなことを知りたいと思いました。　⑪

〇また，自分でも切手について那覇の郵便局などに行って，調べたりしたいです。　⑫
〇今まで，暑中見舞いと年賀状でしか縁のなかった切手ですが，私なりにもっと切手の世界を深めていきたいと思ったので，とても貴重な授業だったと思います。　⑭
〇沖縄以外のところでも，切手に関するエピソードがありそうなので，今度調べたいなーって思った。　⑮
〇これからは，少しでも切手やはがきに目を向けてみたり，現代と昔の切手の違いなどを調べてみたいです。　⑰
〇これから，切手に出会う機会があれば，じっくり鑑賞したいです。　⑲
〇今は，あまり見ることのない切手だけど，おじいちゃん，おばあちゃん，父などに知っていることがないか聞いてみたいなと思います。今回は，「琉球」だったけど，日本のことについて，あるいは他の国についても調べてみたいと思いました。　⑳
〇もし，今日以外に琉球切手を調べる機会があったら，もっと切手のデザイン（なぜＯｋｉｎａｗａにｓがつくのか）などを調べてみたいです。　㉑

⑶　全員の感想

①　はじめはあまり切手に興味がなかったけど，実際に見たり沖縄の歴史から考えたりしてみて，切手っておもしろいものだなあと思った。生き物などをデザインしているのもあって，沖縄の人は自然を大切にしているんだなあと思った。沖縄だけでなく全国の切手も見てみたくなった。講師の先生の説明もわかりやすかったし，とても優しい感じの人だったので楽しく授業を受けられた。このコースを体験して良かったと思った。琉球切手の美しさがとても伝わってくる授業でした。

②　海や植物などの自然，動物を描いている切手もあれば首里城や守礼門などの歴史的なものが切手になっているものもあり，その切手のそれぞれに深い意味やエピソードがあって，とても興味深かったです。琉球大学の切手３種類がとても印象に残りました。那覇市首里に開校してからの多くの歴史がそこには語られており，10周年の紋章にインパクトを感じました。もし，このような機会がまたあれば，切手のもう少し深いところを探ったり，細かいところを見てみたいなと思いました。

③　最初は普通の切手と何が違うかわからなかったけど、この授業を受けてみて、琉球切手について知ることができた。使われていた期間は短いが、その時代のことや沖縄のことを読み取ることのできる面白いものだと思った。短い期間ではあったが、琉球切手について色々知ることができて、琉球切手に興味が湧いた。こんな小さい紙から色々なことを学べて楽しかった。

④　琉球切手を通して沖縄が戦後歩いてきた歴史を見ることができてとても楽しかった。琉大との関係、アメリカとの関係など身近に感じるものも多く、興味深かった。アメリカ統治下での出来事を調べていた時期があったので、そこで得た知識とも関連付けて講話に参加することができた。郵便やお金など今とつながる沖縄の歴史を見ることができて良かった。葉書と琉球切手のプレゼントもとても魅力的で大切にしたいと思った。

⑤　琉球大学の切手があることも初めて知ったし，切手を見て，その時の沖縄のようすなど様々な事が想像できてとても楽しかったです。今まで，切手のことをあまり知らなかったので，今回，切手とたくさん触れあえて，切手からたくさんのことを読み取り比較することで，歴史が感じられ，切手にすごく興味を持ちました。又，沖縄で昔使われていたＢ円や基地で使われていたＡ円についても，もっと調べてみたいと思いました。基地でＡ円が使わ

れていたということは，アメリカでも使われていたのか，それともドルなのかという疑問もわきました。様々な疑問をこれからも持ち続けて，切手についてもっと知りたいと思いました。今日，得た知識をみんなに広めて，琉球切手の良さ，面白さをみんなに知ってもらいたいなあと思いました。

⑥　自分は，琉球切手のことについてまったくわからなかったので，今回の話はとても興味を持つことができた。実物をたくさん用意してくれたり，自分たちにもさわらせてくれたので，なかなか体験できないことが，今回できた。琉球切手や昔の沖縄の雰囲気についてたくさん知ることができた。自分たちにもわかりやすく，知識になるような情報がたくさんあったので，新たに琉球切手について自分でも調べてみたいと思った。

⑦　最初は，琉球切手があることも知らないぐらいだったけど，先生のお話を聞いていくうちに興味を持ちました。デザインがかわいらしいのも良いと思ったけれど，琉球のものが描かれていておもしろいなと思いました。琉球大学の切手も，その切手を見るだけでこういうことがあったんだなと時代を読み取ることができるのも素晴らしいなと思います。沖縄の歴史や自然などが琉球切手を通して見ることができたので良かったです。

⑧　今日の授業では，沖縄にある昔の琉球切手について学んだが，意外と難しかった。一番びっくりしたことは，琉球切手が300近くもあったことだ。こんなに沖縄だけの切手があると思わなかった。あと，琉球大学の琉球切手もあったのでびっくりした。このことをもっと調べて，一番お金が高いのを調べてみようと思った。

⑨　今日は，いつもは関わりのない琉球切手の歴史や琉球大にも三つの切手があることも知ることができてとても良かったです。またクイズ式で楽しい問題にも挑戦することができてとても楽しかったです。琉球切手は意外と奥が深かったです。また家でもいろいろ調べてみたいです。

⑩　切手から琉球の変化が見えてきて，とても面白かったです。琉球切手には，今の切手に比べると，英語の文字やセントなどアメリカっぽい感じがありました。琉球では昔，Ｂ円というのを使用していたということに驚きました。今日，見せていただいたＢ円は，Ｂ円のなかの１枚なのでしょうか。それとも，あのＢ円１枚だけが沖縄で使われていたのでしょうか。などの疑問も浮かんできたりと，本当に興味深く聞くことができました。私も琉球切手を集めてみたいです。

⑪　今まで琉球切手という言葉を聞いたことがなかったけど，今日の授業で沖縄だけで使われていた切手であることが分かりました。琉球大学の記念切手があるということや，お金の単位が途中で変わっているということにも驚きました。今は，全国共通の切手を使っていて，琉球切手は戦後から本土復帰までの間しか使われなかったのは，少しもったいないという気もします。デザインとかは，今の切手でも使って欲しいと思いました。今はメールでやりとりすることが多くて，手紙を書いて送ることがほとんどないけど，これからは手紙で遠くにいる人とやりとりをして，もっと切手やハガキを身近なものにしていきたいです。お父さんやお母さんにも昔の切手のことなどを聞いて，今日学んだこと以外にもいろいろなことを知りたいと思いました。

⑫　切手とかコレクションには，とても興味があって楽しむことができました。でも時間が無くて，切手を作る体験もしたかった。今日の授業では，切手のことについて，いつ発行されたのか，どんなことがあったかなど，くわしく知ることができたので良かったです。また，自分でも切手について那覇の郵便局などに行って，調べたりしたいです。切手を見るだけでも楽しかったし，クイズも楽しめたので良かったです。それ以外にも，切手について知

ることで，昔のことやアメリカ軍のことまで知ることができました。今日は授業をしてくださってありがとうございました。

⑬　琉球切手にはたくさん種類があって，とてもきれいでした。戦後琉球大学の琉球切手が３枚発行されていて，その年代に合った切手だと思いました。今は，切手を使うことも少なくて，あまり切手のことをしりません。琉球切手の歴史について学ぶことができたし，自分で予想しながら考えていくことができたので，貴重な体験をしたと思いました。沖縄は，アメリカと戦争をしてドルとか使っていて，その影響もあって，琉球切手には英語が書かれていたり，３¢と書かれていたり，何か面白いなあと思いました。今日はありがとうございました。

⑭　あっという間に終わってしまいましたが，とても濃い授業だと思いました。興味があって選んだ授業でしたが，ここまで奥の深いものだとは思わず，とても多くのことが学べました。どこへ送っても国内ならハガキにはる切手の値段は同じと知り，郵便局さんてすごく優しいんだなと知りました。琉球大学の切手というものも，生まれて初めて見て，そんなものがあったのかと驚きもありましたし，この切手１枚１枚にある話の深さにも驚かされました。今まで，暑中見舞いと年賀状でしか縁のなかった切手ですが，私なりにもっと切手の世界を深めていきたいと思ったので，とても貴重な授業だったと思います。

⑮　切手なんて，ただ地方の絵が描かれているってだけなのかなーって思ってたけど，そうではなくて，当時の時代背景の影響が大きいって事が面白かった。沖縄以外のところでも，切手に関するエピソードがありそうなので，今度調べたいなーって思った。今回の授業が日常のどっかで，役立てることができたらいいと思った。

⑯　切手だけでこんなにも沖縄の時代の流れが分かるとは思わなかった。自分たちがいつも使っているハガキとはデザインとかが全然違うのが面白かった。当時のハガキのデザインは手作り感があって印刷している感じはあまりないけど現在はデザインがこっていたり，印刷技術があがっていて凄いと思った。琉球切手は，アメリカに占領されていた時期とか，時代背景がわかって面白いなあと思った。

⑰　今回「琉球切手で沖縄を探検しよう」というコースを体験してみて，一言で「琉球切手」といっても，いろいろな種類のデザイン，こめられた思い，歴史的背景などがあることがわかりました。１枚の切手からいろいろなことを学べるということもわかりました。私が最も印象に残っているエピソードは，発行されなかった琉球切手のデザインのお話です。どれも琉球王朝を表現するもので，民主主義に反しているという理由からでした。沖縄はアメリカの一部となっているのに，まだ琉球王朝の国民だと思っていた人もいたのかなあと思いました。普段，切手に対して興味を持つことも多くはないのですが，こうして一つ一つ時代をさかのぼりながら見ていくと，とても奥が深いなあと思いました。これからは，少しでも切手やはがきに目を向けてみたり，現代と昔の切手の違いなどを調べてみたいです。

⑱　「琉球切手」というものの存在を初めて知りました。今はもう使われていないということを聞いて，ちょっともったいないなあと思いました。琉球切手のデザインは，当時の沖縄の様子を表しているようで，昔の沖縄を見ることができたような気がします。切手に書かれている「３¢」という文字がとてもアメリカを強調しているような感じでした。かわいいデザインのもあって，とても引き込まれました。最後に琉球切手をもらい，とてもいい思い出になりました。楽しかったです。

⑲　琉球切手についての歴史や成り立ち，また琉球切手の記念切手の意味などについて学ぶことができました。最初は，切手についての興味はあまりありませんでした。しかし，沖縄

の歴史と関連している切手のデザインを見たり，学んだりすることによって，面白いと感じることができました。今回の授業で，一番興味を持ったのは，琉球大学の記念切手の移り変わりです。色やデザイン，大きさなどから，なぜ¢に移り変わったのかを読み取ることができました。これは，沖縄の日本復帰と関係があることが分かりました。これから，切手に出会う機会があれば，じっくり鑑賞したいです。

⑳　一つ一つにエピソードがつまっていました。悲しいエピソードもあったけど，それも一つの歴史なんだなあと思いました。琉球切手は沖縄の歴史を物語っているようで，すごく面白かったです。王冠や王朝の紋章，守礼門をデザインした切手の発行がゆるされなかった1947年は，マッカーサーというとてもすごい人まで関わっていて，つながっているんだなあと思いました。今は，あまり見ることのない切手だけど，おじいちゃん，おばあちゃん，父などに知っていることがないか聞いてみたいなと思います。今回は，「琉球」だったけど，日本のことについて，あるいは他の国についても調べてみたいと思いました。切手からたくさんのことが見えてきて楽しかったです。ありがとうございました。

㉑　全く触れることのない琉球切手について，今日初めて歴史を学べてとてもよい経験ができました。琉球大学がデザインされている切手が３枚もあるというのは，なんとなく琉附中としては嬉しかったです。そして，昔の人は切手を集めるのを趣味としている人も結構いたというのにビックリして，今とはやっぱり違うなあと思いましたし，切手を見ることで，沖縄，日本の戦後の歴史がわかるというのはとても面白いと思いました。もし，今日以外に琉球切手を調べる機会があったら，もっと切手のデザイン（なぜＯｋｉｎａｗａにｓがつくのか）などを調べてみたいです。

㉒　私は，切手というものに興味がなくて，いくらで買うことができるのとか全く分かりませんでした。でも，今日，切手の歴史などを知って，切手を見たらその時代がどんな時代なのかなど分かることが多くあって，とても勉強になりました。琉大には切手が３枚もあるということも知ったり，昔，琉大が首里城のところに建てられていたということも切手から知ることができた。私が，今日気に入った琉球切手は，1967年のモンガラカワハギ３¢です。切手から時代の流れを感じ取ることができるんだなあと初めて知って驚きました。最初のクイズからも，いろいろなことを学べたので良かったです。ありがとうございました。

㉓　琉球切手についてあまり知らなかったので，今回は沖縄の歴史と一緒に学べたと思います。特に，なぜ切手に王冠や守礼門などを描くことが許可されないことがあったのか，またデザインがなぜそんなにシンプルなのかなど色々なことが分かりました。切手は小さいですが，切手にかかれている絵や文字が大切なことを知らせていると感じました。

４．終わりにー今後の研究について

琉球切手が地域教材としての価値が高いことは授業後の感想文で確認することができた。しかし、今回のような授業を小中高の教育課程に組み入れることは容易なことではない。今後の研究としては次の２点を継続して行っていく予定である。

⑴　社会科の授業の中にトピック教材として取り入れることができるようなワークシートの作成。

⑵　読み物教材として使えるような授業書の作成。

［文献］

伊藤淳也，1972,「安全有利な切手投資Ⅲ」『1972標準切手カタログ』エルム139

日本郵趣協会，2013,『ビジュアル日本切手カタログ〈Vol.2〉ふるさと・公園・沖縄切手編』日本郵趣協会278-337

山本昂編, 2002,『新版　風景スタンプ集　中国・九州・四国・沖縄編』日本郵趣出版47.1-47.6
立川憲吉編, 1973,「切手図案却下理由（マ総司令部）」『沖縄切手ハンドブック』日本郵趣協会160-161
日本貨幣商協同組合編, 1993,『日本貨幣カタログ』日本貨幣商協同組合227-230